

## 東京のタクシーをもっと便利に

この度、東京ハイヤー・タクシー協会（会長：川鍋一郎）では、変化する需要動向に適切に対応するための「供給増加アクションプラン」を策定、新たなタクシー供給体制を構築し、更なる利用者利便の向上を推進します。また、障害者割引適用時に、これまでの各種障害者手帳に加え「障害者手帳アプリ」にも対応することとし、「いつでも」「どこでも」「どなたでも」の移動社会を実現します。

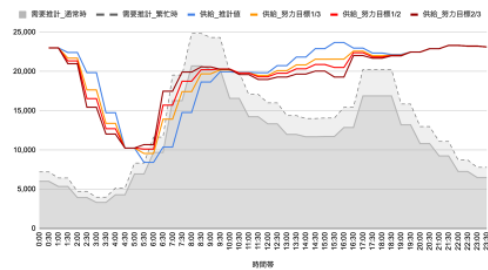
### ■ 供給増加アクションプランについて

1. 需給ミスマッチ解消の要請
2. 相乗りシャトルタクシーの運用
3. 外国人乗務員の在留資格の緩和
4. ダイナミックプライシングの試験導入
5. アプリの配車ロス削減
6. 隣接地域からの車両/乗務員受け入れの試験導入

### 1 需給ミスマッチ解消の要請

・現在の都内タクシーの供給量は特に朝に低下し1万台(供給の1/3)を切ってしまうている  
・伝統的に朝6-9時台に営業所を出庫するシフトが多くシフト交代が集中するのがその原因  
・酷暑を避け早朝の競技実施も多い為、オリパラ関係者・観客への供給対策は急務である

需給比較（東京特別区・武三）



→ 協会から各社に協力要請を実施し、朝6-9時台の需給ミスマッチ時に所有車両の一定量は必ず稼働する様にする(夕方出庫のシフトへの変更、朝シフトの時間前倒しなど)

- \* 各施策の実現に向け、関係者との協議を進めていきます。
- \* 既に実施しているものは、その精度を高めていくことを目標としています。  
(特に「5. アプリの配車ロス削減」について、利用者の皆様の御理解、御協力をお願いします。)

### ■ ミライロIDについて

令和2年4月1日より(株)ミライロ（代表：垣内俊哉）が提供する障害者手帳アプリ「ミライロID」についても、割引対象とするよう、会員事業者全社・全車両（都内9割以上のタクシー）に協力要請をいたします。

身体障害者手帳

療育手帳

精神障害者保健福祉手帳

これら公的手帳に加え【ミライロID】が追加となります。



本件に関するお問合せ

(一社) 東京ハイヤー・タクシー協会 総務部広報担当

TEL:03-3264-8080

URL: <http://www.taxi-tokyo.or.jp/index.html>

# オリンピック・パラリンピック対応 供給増加アクションプラン

令和2年3月18日

# 検討経緯

---

- 東京オリンピック・パラリンピックは、「世界一」と称される日本のタクシーのホスピタリティを發揮する絶好の機会です。UD車両であるJPN-TAXIは既に1万台（3台に1台）を超え、殆どのタクシーが配車アプリ・多言語タブレット・キャッシュレス端末を備える等、準備は前倒しで進んでおります。
- 東京のタクシー乗務員約1,100名がオリンピック専用車両の運行に従事しタクシーの供給が減る事と、早朝及び夜間の競技開催が通常的需求のピークと重なる事に伴い、適切なタクシー供給体制の構築が最後の課題として浮上しております。
- 当協会は以下のアクションプランを模索することにより、公共交通機関としての使命を果たすべく、個人タクシーとも連携の上、最大の努力をして参る所存です。

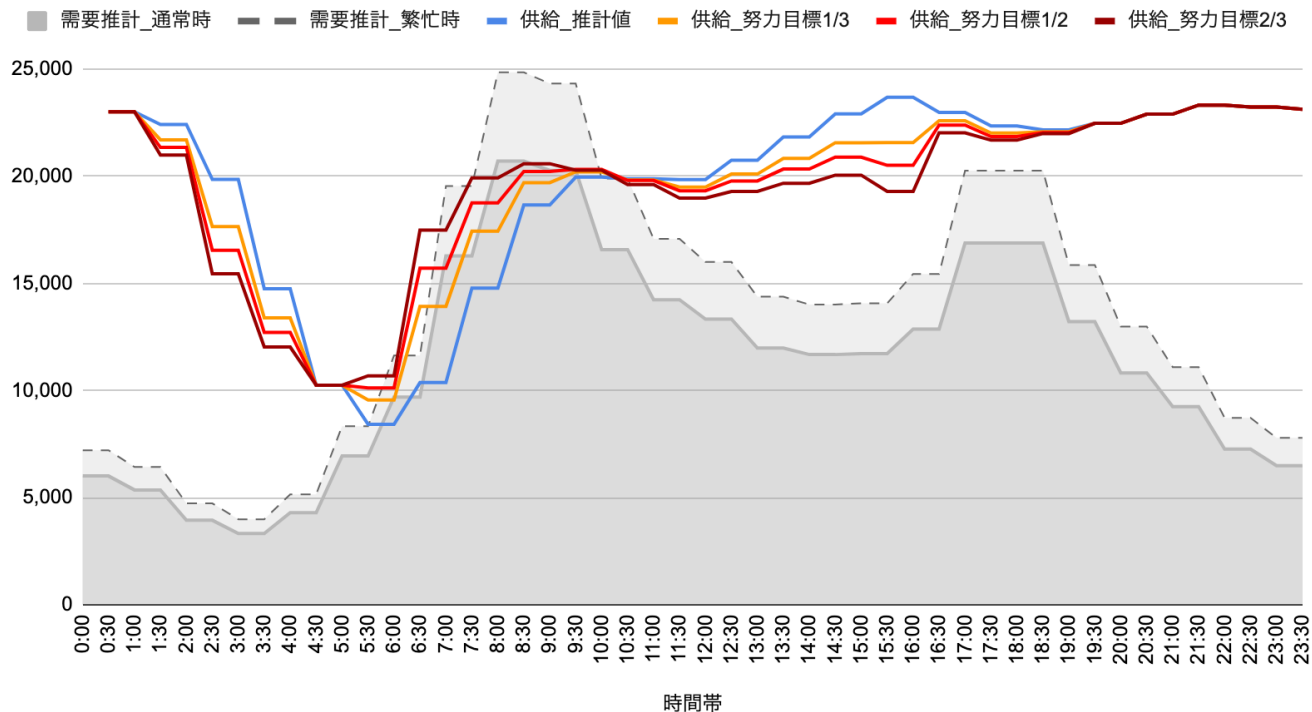
## 「オリパラ対応供給増加アクションプラン」

1. 需給ミスマッチ解消の要請
2. 相乗りシャトルタクシーの運用
3. 外国人乗務員の在留資格の緩和
4. ダイナミックプライシングの試験導入
5. 配車アプリの配車ロス削減
6. 隣接地域からの車両/乗務員受け入れの試験導入

# 1 需給ミスマッチ解消の要請

- ・現在の都内タクシーの供給量は特に朝に低下し1万台(供給の1/3)を切ってしまうている
- ・伝統的に朝6-9時台に営業所を出庫するシフトが多くシフト交代が集中するのがその原因
- ・酷暑を避け早朝の競技実施も多い為、オリパラ関係者・観客への供給対策は急務である

需給比較 (東京特別区・武三)



概算値

→ 協会から各社に協力要請を実施し、朝6-9時台の需給ミスマッチ時に所有車両の一定量は必ず稼働する様にする(夕方出庫のシフトへの変更、朝シフトの時間前倒しなど)

## 2 相乗りシャトルタクシーの運行

- ・2018年に実証実験を実施した「相乗りタクシー」制度が整備されるタイミング
- ・オリパラにより局所的に需要が急増する、駅から競技場、ホテルから空港、など柔軟に「シャトルタクシー」を設定する
- ・オリパラ関係者や顧客への集中的な告知で効果的に運行できる可能性高い



→「相乗りタクシー」の早期実現と運用の柔軟化を目指す

# 3 外国人乗務員の在留資格の緩和

- ・外国人乗務員は1%未満だが、勤労意欲やお客様評価は日本人と同等以上
- ・在留資格、二種免許試験の多言語化などボトルネックも解消に動く
- ・オリパラ関係者・観客にとって母国語での対応を可能にできる有効手段となる



介護職から一念発起でドライバーに  
タクシーは語学力が発揮できる仕事

ロザリン・バルアさん  
(インド出身)

詳細



二種免許・国際免許がなくても採用！  
5回目の試験で満点合格しドライバーに

ミーエ・マルシアル・クラウド・マルセルさん  
(フランス出身)

詳細



大事なのは地理よりコミュニケーション  
東京の道を知らなくても活躍できる！

リブソン・アレクサンダー・ポールさん  
(カナダ出身)

詳細



→ 在留資格に何らかの突破口を開く

- ・「国際業務ビザ」の発給要件緩和(日本語検定N2でも良い等)
- ・「特定活動ビザ」の発給要件の一時的緩和(海外の大卒、N2で良い等)
- ・「特定技能1号ビザ」の対象へのタクシー乗務員の追加



# 4 ダイナミックプライシングの試験導入

- ・2018年に実証実験を実施した「変動迎車料金」の実績はある
- ・局所的に需要が急増する時間帯・地域に応じて、タクシー乗務員に対するインセンティブとして、何らかの料金をお客様に課金させていただく
- ・アプリでの課金となりオリパラ参加者・観客への告知もできる

## 変動迎車料金とは？

通常、タクシーをアプリや電話で呼ぶ場合には運賃とは別に「迎車料金410円」がかかりますが、『タクシー変動迎車料金アプリ』は、時間帯や天候などで変動する空車の数に応じて「迎車料金」が変わり、空車が多い時間では迎車料金が最大無料になります。また、空車が少ない繁忙時は迎車料金が最大910円となり、優先的に車両の手配が行えます。



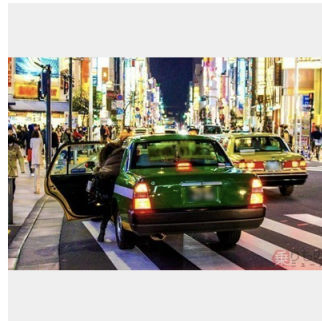
→「変動迎車料金」の方向性を確認しながら対応

# 5 アプリの配車ロス削減

- ・配車アプリの浸透に伴い、複数アプリで同時にタクシーを呼び一番最初に来たタクシーに乗り、他をキャンセル/ノーショーする顧客が散見され始めた
- ・空車タクシー車両の無駄につながり、繁忙時の配車の妨げになっている
- ・キャンセル/ノーショーが多いのでアプリ取らない乗務員が増えるなど悪循環にも
- ・スクールゾーンでの迎車・実車のタクシーについては、通行禁止の対象外とする措置が必要

## 問題化するタクシー配車アプリ「無断キャンセル」 マナー無視の利用者で一般乗客も迷惑

2019/10/20(日) 10:31配信



タクシーに乗車するイメージ (画像: 写真AC)。

街頭のタクシーも、つかまりづらくなる？

2019年現在、スマートフォン向けの様々なタクシー配車アプリが登場していますが、その使い方について、業界が一般ユーザーに対し注意を呼び掛けています。

→・まずは各アプリでのキャンセル/ノーショー防止策とともに、協会としてもお客様への啓蒙に務めることが必要(飲食店無断キャンセル問題と同様)



# 6 隣接地域からの車両/乗務員受け入れの試験導入

- ・東京の隣接営業区域から車両や乗務員を一時的に受け入れ
- ・オリパラで一時的に需給が逼迫する地域での運行を特例的に認める



→ 営業区域・運賃ブロックなどとの整合制や一時的措置等の方向性を確認しながら対応